

2019年度の管理運営状況等について

— 目次 —

1, 第Ⅲ期 2019年度	-16-
2, 南海電鉄の取り組みについて	-17-
(1)新規案件	-18-
(2) <u>従来からの取り組み</u>	-21-
3, 賑わい創出について	-26-
(1)イベント	-27-
(2)ロケーション撮影	-29-
(3)オープンカフェ	-30-
(4)独立型店舗	-32-
(5)広告事業	-33-
(6)その他	
4, 現場管理(警備・清掃・イベント管理)	-34-
5, 遊歩道でのアンケート 集計概要 (2019年9月実施分)	-35-
6, 収支(2019年度実績見込)	-37-
参考資料	
(1)2019年度伝統行事、行政・地元主催イベントの一例紹介	-39-
(2)その他イベントの一例	-43-
(3)船上PR 一例紹介	-46-

南海電気鉄道株式会社

1. 第Ⅲ期 2019年度

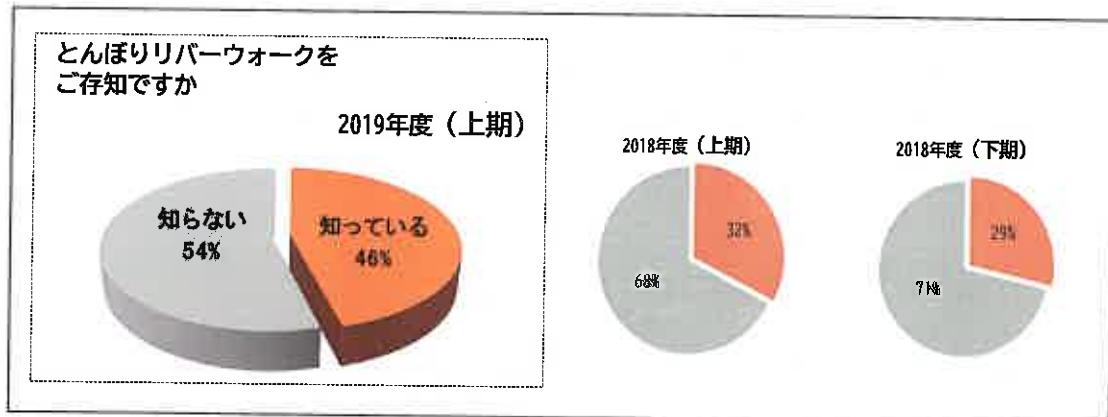
道頓堀川遊歩道の管理運営事業において第Ⅲ期の初年度となる2019年度は、「平成」から「令和」への改元、「G20大阪サミット 2019」やラグビー人気を加速させた「ラグビーワールドカップ 2019」の日本開催など節目の年度であり、世界的に向けて大阪がさらに注目をされることとなりました。

南海電鉄としましても、節目の年度として「とんぼりリバーウォーク」での新たな魅力と賑わい創出、知名度の向上ならびに収益増を目指して、スタートアップ企業との連携による目隠しパネルを活用したウォールアートなどをはじめ、道頓堀橋の橋下通路へのイルミネーション設置に合わせて閉鎖時間を試行的に短縮するなど、東西の回遊を活発化させるべく新たな取り組みを進めました。

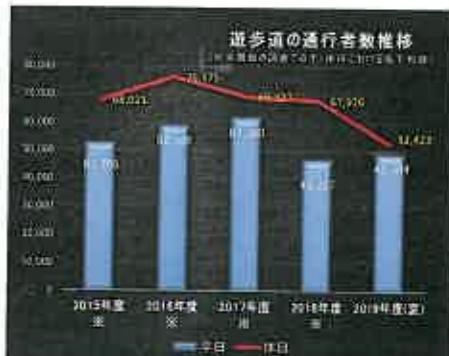
さらに、アンケート調査(下図1参照)から遊歩道には度々訪れるが「とんぼりリバーウォーク」の名前を知らない方も多い状況を鑑み、まずは認知度より知名度を浸透させるべく、「とんぼりリバーウォーク」の愛称表示を広く遊歩道に掲示するように努めました。

しかしながら、本年度下期頃から日韓関係や新型コロナウィルス感染症等の影響により訪日旅行者が前年度を大きく下回り、遊歩道を訪れる方も同様で以前には常態的に満席状態で運行をしていたクルーズ船でも空席が見受けられました。

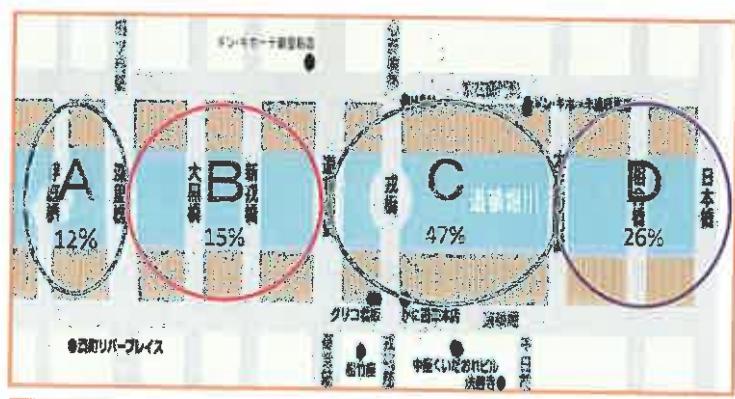
今後も益々国際的に大阪が注目される世界的イベントの「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」、「2025 年大阪・関西万博」などが控えているなか、大阪随一の観光スポットにある「とんぼりリバーウォーク」をこれからも継続して安全・安心と存在感を演出しつつ、多くの方が訪れたいと思われる場所になるよう様々な取り組みを推進します。



<図1 遊歩道通行者アンケート調査から抜粋>



<図2 遊歩道通行者数調査結果>



<図3 遊歩道の各エリアにおける通行者割合>

2. 南海電鉄の取り組みについて

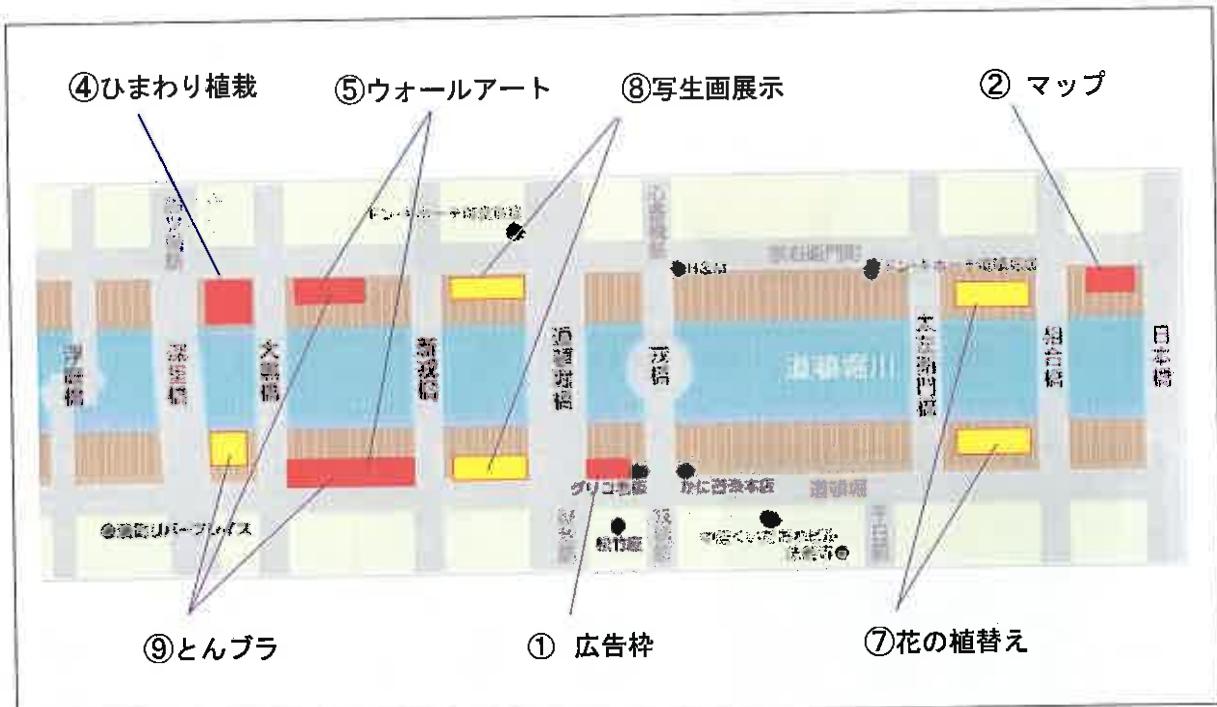
★…【図4 取り組み位置図】に場所明示

(1) 新規での取り組み

- ① 新ロングボード広告枠 ★
- ② とんぼりリバーウォーク表示マップ(目隠しパネル) ★
- ③ とんぼりリバーウォーク表示(床面ラッピング)
- ④ ひまわり植栽 ★
- ⑤ ウォールアート ★
- ⑥ Information ボードへの広告(試行実施)

(2) 従来からの取り組み

- ⑦ 地元小学生による花の植替え ★
- ⑧ 写生画展示(小学校の写生授業) ★
- ⑨ とんブラ 2019&水辺で乾杯! ★
- ⑩ イルミネーション



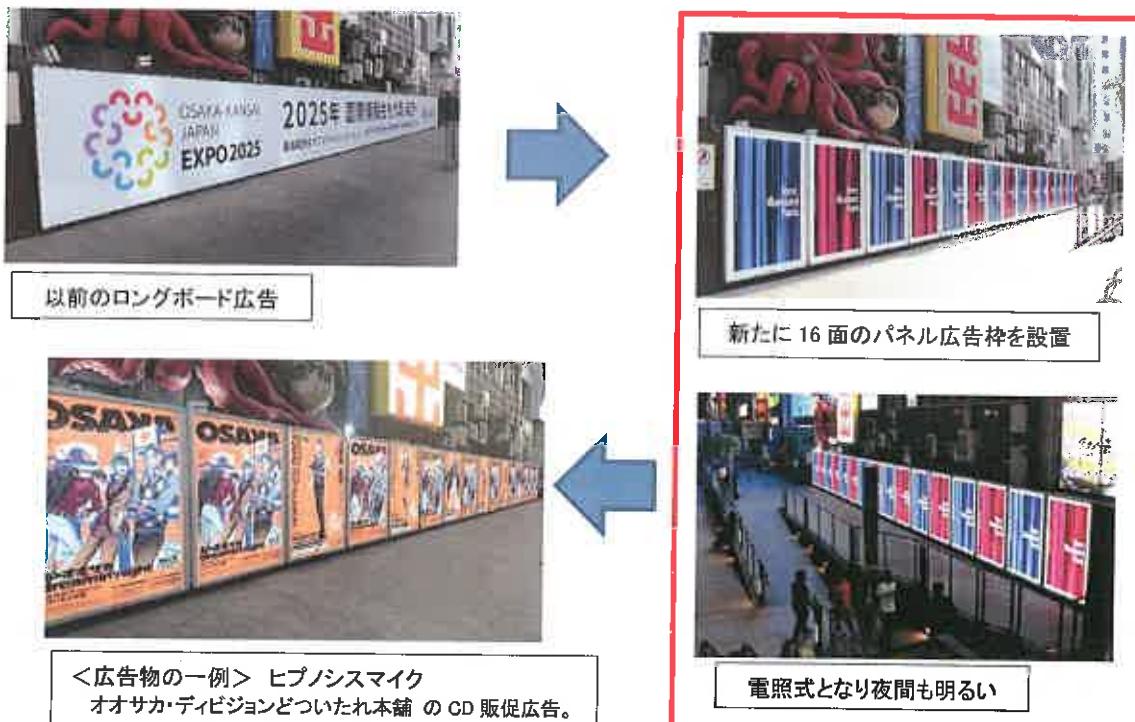
【図4 取り組み位置図】

(1) 新規での取り組み

① 新ロングボード広告枠 2019年5月~

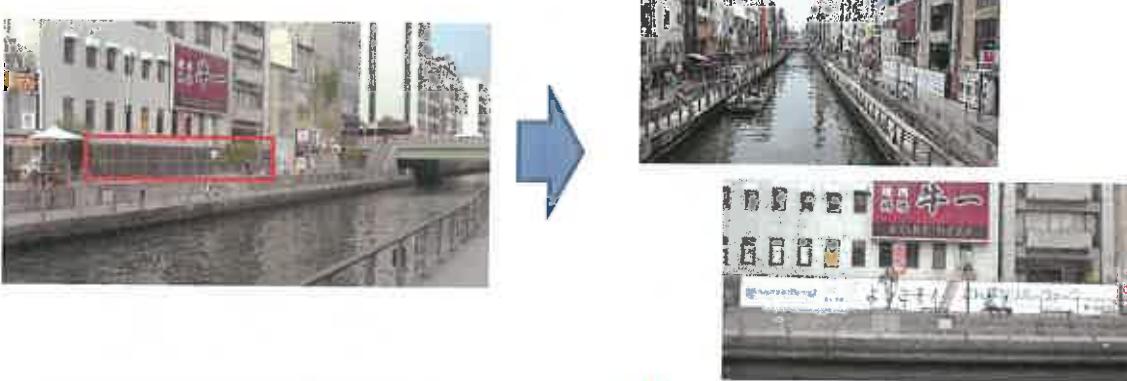
従来までは、横 25m の広告枠を活用して広告募集を実施していた。その際、広告掲出がない年度もあるなど収入も不安定であり、また掲出の有無に関わらず発生する維持費用(広告枠の占用料等)が負担となっていました。

しかし、掲出依頼主の有無に左右される従来までの考え方と営業施策を転換し、2019 年度から新たに広告枠部分(場所)を複数年で貸出し、安定的な収益確保と賑わい創出に繋げることができました。



② とんぼりリバーウォーク表示マップ(目隠しパネル) 2019年5月~

前述した①のパネル広告枠により、使用しなくなった旧ロングボード枠を日本橋付近の目隠しパネルに施設活用し、「とんぼりリバーウォーク」名称およびマップを掲載した表示物を掲出しました。これにより、日本橋の通行者にも「とんぼりリバーウォーク」を認知していただきやすくなりました。



目隠しパネルに名称と多言語マップを掲示。(サイズ: W 25000mm × H 2000mm)

- ③ とんぼりリバーウォーク表示(床面ラッピング) 2019年5月～12月
知名度向上につなげるべく、遊歩道にある各橋の階段下や遊歩道に「とんぼりリバーウォーク」
名称を床面ラッピングにて表示しました。(計26ヶ所)



- ④ ひまわり植栽 2019年5月30日～9月25日
西側エリア活性化策のひとつとして、大黒橋の右岸(北側)エリアの広場にある花壇に小型の
「ひまわり」を計560株植えました。当初の課題が水やりでしたが、從来から使用されていなかつ
た灌水装置が稼働したため、実施に至りました。
陽当たりもよく、期間中に全面植替えを一度実施することで、華やかさを維持しつつ訪れる方
も増え、写真を撮られたりしていました。
今回の実証で得られた副次的な効果として、そのエリアでのゴミ放置がほとんど無くなり、特に
花壇周りではそれが顕著に現れていました。2020年度は、年間を通じて花を植えて水辺空間と
の相乗効果による癒しスポットになれるように進めていきます。



⑤ ウォールアート(道頓堀アート) 大黒橋～新戎橋間 2019年7月～

2019年度、新規施策の中核として取り組みを始めたウォールアートですが、主催者はスタートアップ企業として、今まで価値のなかった壁に経済価値を生み出す(シェアリングエコノミー)べく、壁を利活用して、「壁×アート×広告×ユーザー」を繋ぐ『ウォールシェア』により社会問題でもある「落書き」をも逆手にした事業をされています。

南海電鉄としては、西側エリアの落ち着いた空間をアートにより演出し、遊歩道への来場動機に繋がる賑わいを創出したいとの思いがあり、また主催者は、ウォールアートによる表現場所を探していた両社のニーズがマッチして今回のウォールアートに発展しました。

第1弾として、7月に10作品が完成してから、テレビでの情報番組や新聞等でウォールアートの取り組みなどが色々紹介され、作品も順次追加し2019年12月末では17作品が掲出されています。ウォールアートでは、アーティストの作風を活かしたフリーアートと、企業が広告主となるアート広告の2種類で構成されていますが、現在、アート広告は1作品の掲出となっています。

【ウォールアート掲出内容】

■左(南)岸 2019.7.10 完成



■右(北)岸 2019.7.10 完成



■左(南)岸 2019.8.14 完成



■左(南)岸 2019.9.9 完成



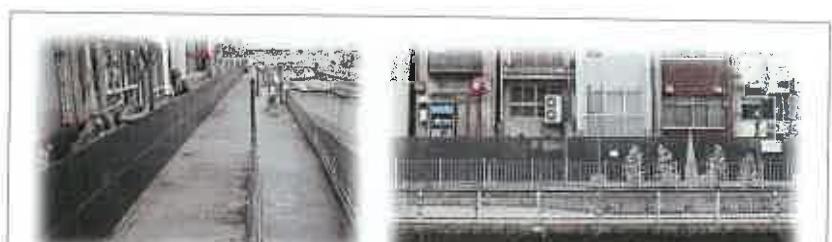
■左(南)岸 2019.10.14 完成



■左(南)岸 2019.10.28 完成



■左(南)岸 2019.11.10 完成



ウォールアート設置前の様子【大黒橋～新戎橋間 左(南)岸】

⑥ Information ボードへの広告(試行実施) 2019年12月～2020年3月(予定)

とんぼりリバーウォークや周辺マップなどを掲示している「Information ボード」を活用し、試行的に道頓堀川でクルーズ船を運航されている会社とタイアップして有料広告を掲示しています。

掲示物は、広告としてのみならず、橋から川への飛び込みやゴミ等の投げ込みへの危険行動に對して警鐘を鳴らすべく、注意喚起を含めて周知を図りたいとの目的もあります。



遊歩道の両岸に計14ヶ所ある「Information ボード」。



640mm×470mm のポスター広告を掲示。

(2) 従来からの取り組み

⑦ 地元小学生による花植え 2019年5月、10月

太左衛門橋～相合橋間の両岸に設置したプランター40基に、校外学習の一環として地元小学校にご協力をいただき、2015年度から季節の花を植えてきました。

道頓堀川への親しみと花言葉に関するクイズなどを通じて、小学生に草花をより一層身近に感じていただけるよう趣向を凝らした講話を行いました。

児童たちは元気いっぱいに花を植え、終了後には様子を見に来られていた保護者も交えて記念撮影を実施しました。

■ 2019年5月21日 実施 大阪市立高津小学校 2年生 22名 「ベゴニア」の花植え

■ 2019年10月9日 実施 大阪市立難波元町小学校 5年生 26名 「パンジー」の花植え



⑧ 写生画展示(小学校の写生授業) 2019年8月～2020年3月(写生授業6月)

大阪市立南津守小学校により毎年写生授業が実施され、本年度で5年目になります。今回も、6年生93人の児童たちが熱心に写生に取り組んでいました。

完成した写生画は、例年8月中旬から約2ヶ月間にわたり新戎橋～道頓堀橋間の遊歩道にある目隠しパネルに展示していますが、期間中の展示物の状態が良い点や道頓堀橋を通行される方からも視認できるため、賑わいの創出の観点からも本年度は、児童が卒業する2020年3月まで延長しました。

ウォールアートとの相乗効果により、遊歩道西側エリアはアートな空間が出現しています。

■ 写生授業実施日 2019年6月6日



■ 写生画展示期間 2019年8月14日～2020年3月末(予定)



⑨ とんブラ 2019「水辺でアートと乾杯！」 2019年7月7日

本年で8回目を迎えた「とんブラ」ですが、今年は西側エリアで開催し、大規模でなくコンパクトかつ脇役的なイベントで実施しました。

当日は七夕で日曜日。七夕用に装飾した笹を川側の柵に設置して、来場者が短冊に願い事を書いて飾るという七夕の雰囲気を感じていただく内容でした。参加者は、お子様からご年配の方まで幅広く、家族やグループでお越しいただく方がほとんどでした。

また、それ以外の目的とまして、西側エリアの特に大黒橋付近では、普段からイベント実施の機会も殆どないため、付近のポテンシャルを図り今後に活かすことやウォールアート作品のライブペイントの実施日であったこと、さらにはミズベリングの「水辺で乾杯」のアクションも取り入れて、それぞれに关心を持っていただけるように、相互案内を行うなどミックスした内容で開催しました。

・とんブラ 約100名が参加



・道頓堀アートサミット(ウォールアート ライブペイント 7/5~7) 観覧者 延べ1,500名



・水辺で乾杯！ 約200名が参加



⑩ イルミネーション「光と水のワ�ダーランド」 2019年10月13日～2020年3月15日

冬の遊歩道での賑わい創出と回遊性向上を目的として、イルミネーション「光と水のワ�ダーランド」を開催しました。「大阪・光の饗宴2019」のエアープログラム「まいどおおきに！大阪ミナミ光マッセ！」の一環としても毎年参加しています。

本年度は、開催期間を約2ヶ月延長するとともに、戎橋と大黒橋のライトアップに加えて新たな趣向を西側エリア中心として展開、また道頓堀橋下の通路にも装飾を施すのと同時に通路閉鎖時間を試行的に1時間短縮し、東西回遊性のテストを実施しています。

大黒橋エリアではフォトスポットの増設により、周辺が明るくなり防犯的にも寄与だけでなく、外国人観光客なども記念撮影されるなど好評を得て遊歩道への誘因を実現しました。



大黒橋付近のフォトスポットで記念撮影している様子。

【本年度のポイント】

① 【道頓堀 橋下通路の装飾】

・通路の天井部にLEDネットフェンスにて装飾し、両サイドの白色蛍光灯をブラックライトの蛍光灯に変えて通路全体で普段と違った空間にしました。それまでの通路イメージを一新し、通行者がその前を通るだけで服やメイクが違った不思議な見え方となるため、SNSでも投稿されています。



設置前の通路内部



設置後



※参考画像 蛍光灯型ブラックライト

② 【フォトスポット】

・道頓堀川を背にして撮影をお楽しみいただけるフォトスポットを大黒橋下の空間とその付近に追加設置して、西側エリアへの誘因を実現しました。遊歩道からだけでなく、道頓堀川を航行するクルーズ船からも西側エリアの新たなコンテンツとしてお楽しみいただいているいます。



大黒橋下のイルミネーション



大黒橋付近のフォトスポット

イルミネーション紹介ポスターを制作し、期間中は「とんぼリバーウォーク」に掲出。

とんぼリバーウォーク
TOMBORI RIVERWALK

イルミネーション

「水と光のワンダーランド」

開催期間 2019年10月13日～2020年3月15日

点灯時間 17:00～24:00 期間中の毎日

主催者 南海電気鉄道株式会社



NANKAI

3. 賑わい創出について

イベント開催では、新たな実施方法での開催や課題解消に向けた取り組みを促進しています。さらに、地元の方々をはじめとしたミナミを元気に盛り上げたいとの強く熱い想いを持つ方々のご協力も得ながら、前年度を超過した件数になる見込みとなっています。

反面、本年度のロケーション撮影は、過去最高の件数だった前年度を超えない状況となっていますが、オープンカフェ契約につきましては、沿川店舗の出店増や年間を通じた契約店舗の増加、ならびに新たな広告利用などにより、本年度の想定件数は以下のとおりです。(下表①参照)

<表① イベント等の実施状況>

	第Ⅰ期			第Ⅱ期						第Ⅲ期		
	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度			2019年度・見込		
							上期	下期	計	上期	下期*	計
イベント実施件数	60件	62件	90件	110件	209件	214件	106件	123件	229件	195件	82件	277件
ロケーション撮影件数	8件	10件	27件	11件	31件	28件	17件	31件	48件	18件	8件	26件
オープンカフェ最多契約店舗数／月	8店	13店	17店	22店	31店	38店	40店	44店	44店	45店	45店	45店
広告掲出件数(月単位の積算)	1件	2件	0件	1件	3件	0件	0件	0件	0件	7件	16件	23件
独立型店舗出店件数	-	-	-	1件	1件	2件	1件	0件	1件	1件	0件	1件

* 下期 1~3月は見込

(1) イベント

本年度のイベントでは、PRの一環として遊歩道の床面にラッピングをしたイベント開催をはじめ、今まで実施したことがない方法でのイベントを実現することができ、今後のイベント実施における新たなモデルケースになりました。

しかし、イベントでの利用範囲拡大は収益増加とも直結していますが、遊歩道がオープンカフェとしても一部利用されているため、オープンカフェ店舗の増加によるイベント利用面積の減少をはじめ、通行動線の確保や音楽系ライブイベントでの近隣への音響問題なども課題となっています。管理運営事業者として、音響機器の長時間使用や連続開催禁止等、自主的にイベントにおける規制を設けて取り組んでいるところですが、主催者とも問題点を共有し、さらなる音量規制の徹底、開催場所変更等の改善を図りつつ、地域のご意見もうかがいながらイベント開催に努めたいと思います。

床面へのラッピングによるPRイベント 2019年5/29～7/2 戎橋～太左衛門橋間



右(北)岸 上段部 足跡



左(南)岸 ゴジラ



SUPによるPRイベント

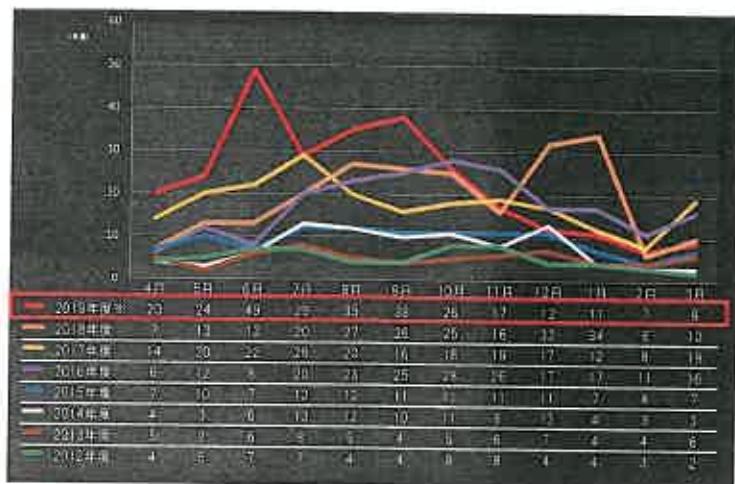


遊歩道と台船を飲食スペースで利用した「ギョーザイベント」

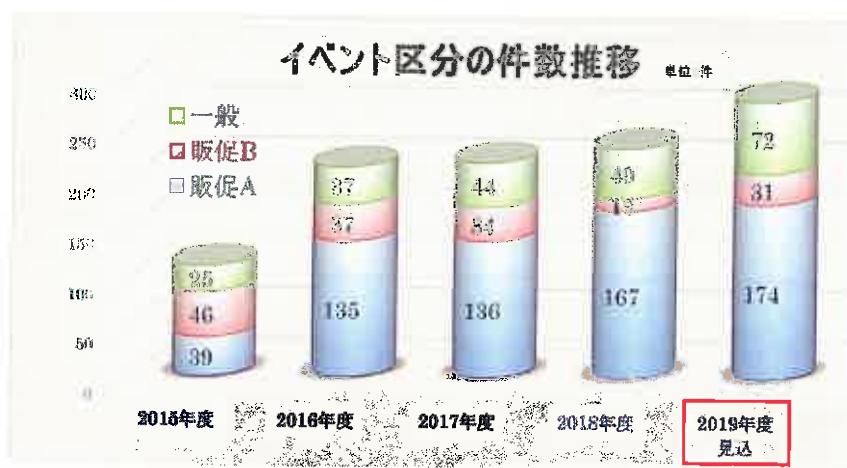




<図5 年度別イベント実施件数推移>



<図6 月別イベント件数推移 ※2019年度の1月～3月は見込>



<図7 年度別イベント区分の件数推移>

イベント区分

<一般>

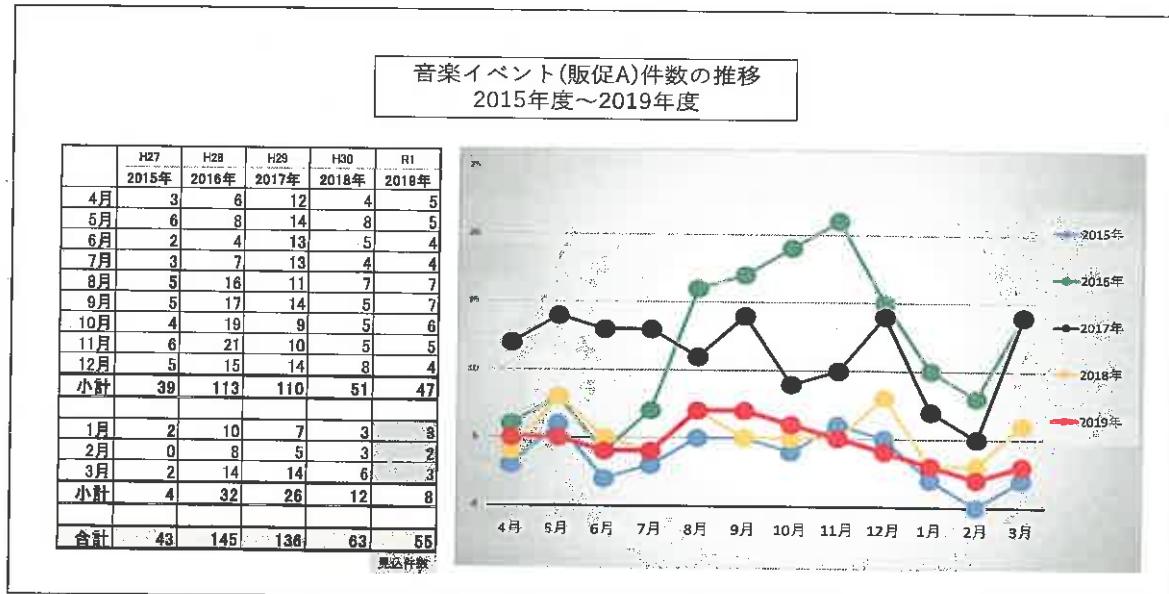
公共・地域振興団体等が実施主体
販売促進やPRを伴わないイベント

<販促B>

公共・地域振興団体等が実施主体
販売促進やPRも実施するイベント

<販促A>

民間・産業振興団体等が実施主体



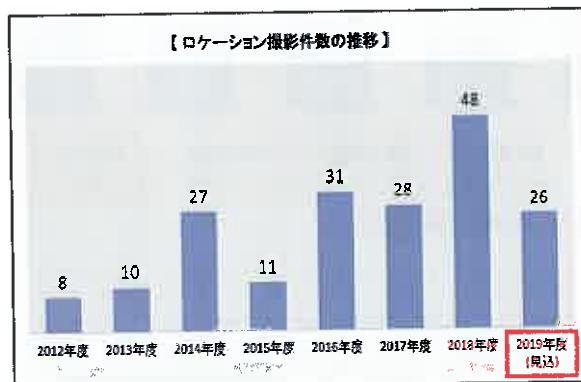
(2)ロケーション撮影

映画撮影、テレビ番組撮影やCM撮影、情報誌等のスチール撮影などロケーション撮影では多様なニーズにお応えすべく、イベントとの重複時調整や撮影時の安全確保など多岐にわたり実践しています。

本年度も、テレビ番組、CM撮影をはじめとした幅広い種類の撮影が実施されたことで、さらなる「とんぱりリバーウォーク」のPRにも繋がりました。

【2019年度に実施されたロケーション撮影の一例】

イギリスTV番組	「ラグビーWCホスト町紹介」
読賣テレビ放送	「朝生ワイド す・またん！」
TBSテレビ放送	「水曜日のダウンタウン」
関西テレビ放送	「Aえ！groupのええ！関西プロジェクト」
テレビ朝日放送	「音楽チャンプ」
NHK大阪放送局	「第19回 わが心の大坂メロディ」生中継（※画像①参照）
映画撮影	「ボイス」
ドラマ撮影	TBSテレビ 「義母と娘のブルース」 関西テレビ放送 「新・ミナミの帝王」 NHK 「だから私は推しました」
テレビCM	西丸CM、関西テレビ・ゴジラトリックアート告知CM
WEB CM撮影	関西電気保安協会CM
スチール撮影	経産省「大阪万博誘致アプリ」用素材 など



撮影前の準備状態



画像① 2019.10.29 NHK 大阪放送局「わが心の大坂メロディ」撮影の様子

(3) オープンカフェ

恒常的な賑わいをもたらす沿川店舗が増えることで、遊歩道への来場(誘因)動機にも繋がり、また、一時的な賑わいをもたらすイベント開催やロケーション撮影との相乗効果で、さらなる出店意欲が波及し、2019年度も4店舗とのオープンカフェ利用の新規契約に繋がりました。

既存店舗のみならず新たに出店される際には、利用者を取り込むための手段としてオープンカフェ利用のニーズは年々高まり、営業努力と利用促進の利用料割引施策の甲斐もあり、冬季期間を含めた年間での契約件数も向上しました。さらに、「湊町右岸(北岸)エリア全体の利活用」での試行実施による該当2店舗においては継続して拡大利活用が実施され、うち1店舗では本年度から店舗前にある花壇植栽の植替えやメンテナンスも含めて取り組んでいただいている。(画像②参照)

全体的な課題としまして、契約範囲外へのみ出し等の不適正利用に対しては、粘り強く個別に店舗および経営者への注意喚起と定期的な大阪市様との適正化活動等による対応を進めます。

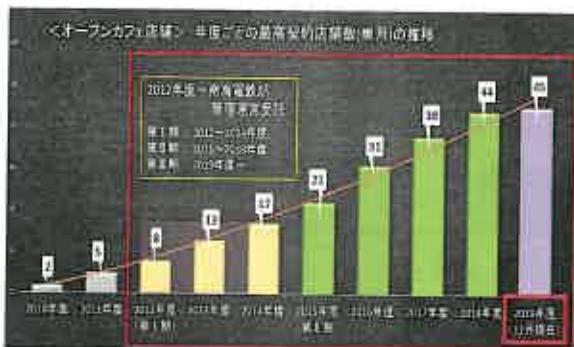


画像② 湊町右岸エリア全体利活用事例（店舗「8 G」花壇植栽の維持）

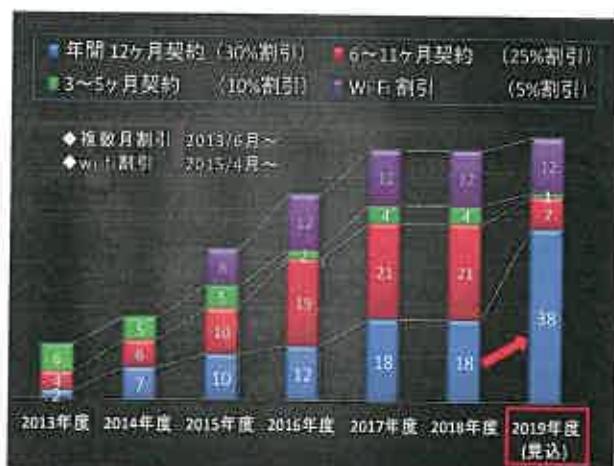
※南海電鉄では、季節を問わず長期的な利用促進を図るべく割引制度を導入しています。(図9参照)

・2013年度から「長期利用割引制度」(10%~30%割引)

・2015年には「Wi-Fi(国内端末向け)設置割引制度」(5%割引・複数月割引との併用あり)



<図8 オープンカフェ 1ヶ月における最高契約店舗数の推移>



<図9 オープンカフェ契約期間別件数推移>

<表② オープンカフェ 月別営業(契約)店舗件数>

月別	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度(見込)
4月	4	9	14	17	24	30	36	42
5月	4	10	14	18	27	32	37	42
6月	4	10	14	19	27	36	37	42
7月	4	13	14	20	29	36	37	44
8月	4	13	15	21	31	38	38	45
9月	6	13	16	21	31	38	40	45
10月	6	13	16	22	30	36	43	45
11月	7	11	15	19	29	34	44	45
12月	8	11	17	21	28	31	42	44
1月	7	11	15	20	26	32	41	40
2月	7	11	15	19	26	32	42	40
3月	7	11	15	19	24	33	41	40
年度累計	68	136	180	236	332	408	478	514
前年差	68	44	56	96	76	70	36	-

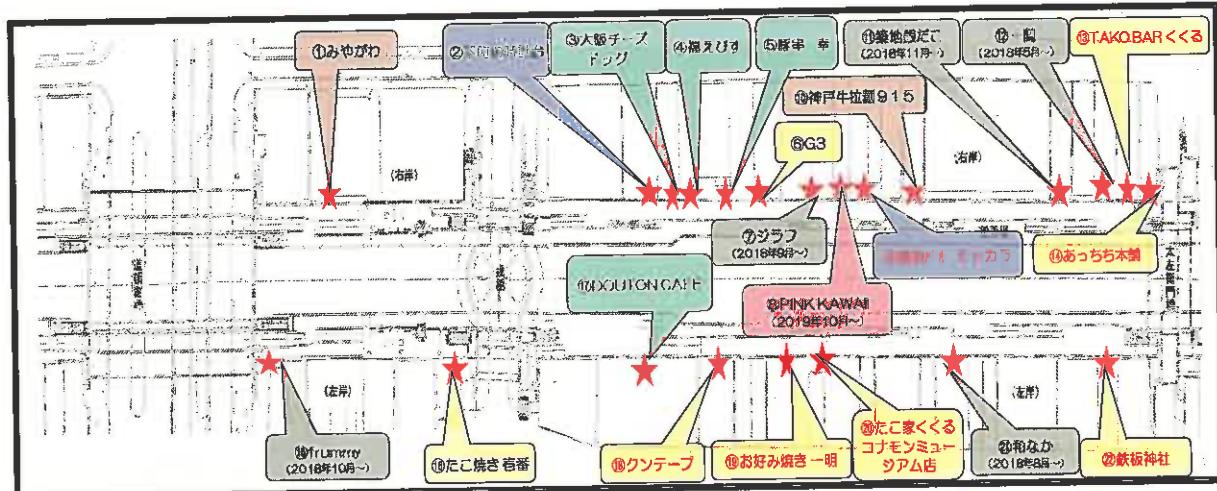
<表③ オープンカフェ 新規契約店舗件数>

月別	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度(見込)
4月	3	1			3	1		
5月	1	1			3	1	1	
6月			1	1		4		
7月		3		1	2			2
8月			1	1	2	2	1	1
9月	2	1	1				2	
10月				1	1	1	4	1
11月	1			1		1	1	
12月	2			2	2			
1月		1						
2月							1	
3月							1	
合計	9	7	6	6	12	10	10	4
退店等	-1	-1	-1	-2	-5	-2	-3	-2

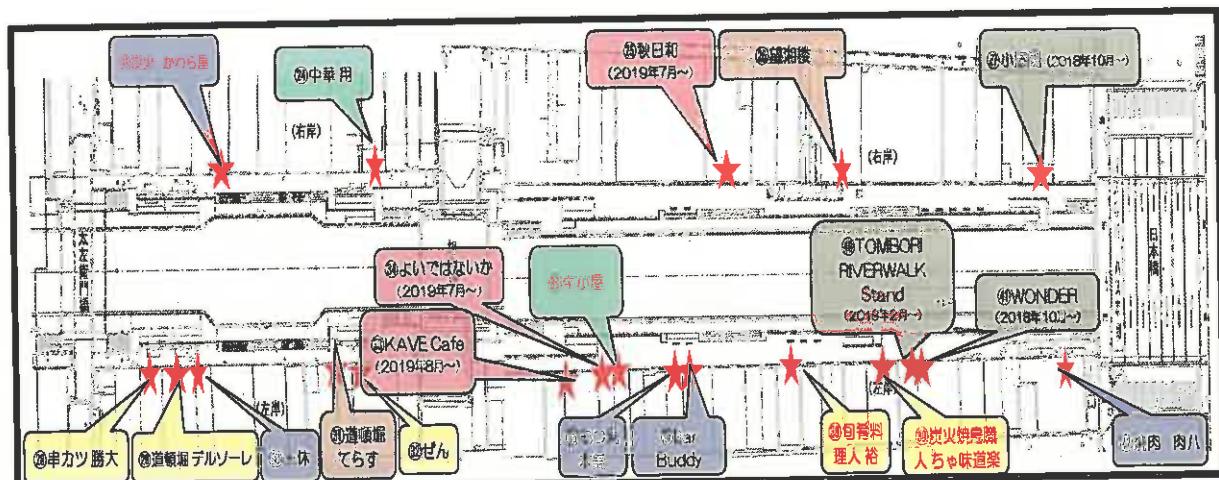
【オープンカフェ契約先店舗一覧 2019年12月末現在】

凡例:

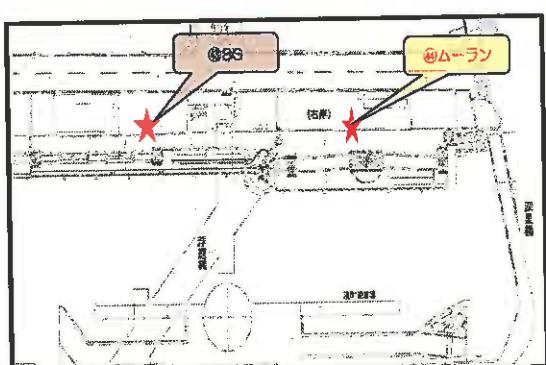
w 1-f 1契約店 (赤文字)	2019年度 新規 4店舗 閉店1	2018年度 新規 10店舗 閉店2	2017年度 新規 10店舗 閉店2	2016年度 新規 12店舗 閉店3	2015年度 新規 7店舗 閉店2	2014年度以前 17店舗
---------------------	----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	----------------------	------------------



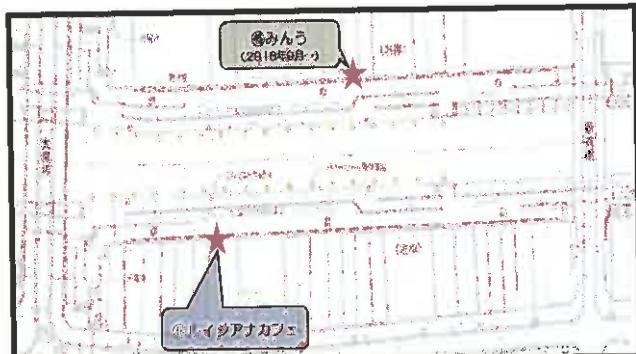
【道頓堀橋～太左衛門橋間】 右岸 14 店舗(新規1)、左岸 8 店舗



【太左衛門橋～日本橋間】 右岸 5 店舗(新規1)、左岸 15 店舗(新規2)



【浮庭橋～深里橋間】 右岸 2 店舗



【大黒橋～新戎橋間】 右岸 1 店舗、左岸 1 店舗

(4) 独立型店舗

湊町エリアでは、2015年度から毎年春・夏季に最大140席を擁するバーベキューの屋外店舗として活用されていましたが、2018年の台風21号により什器を含めた設備にも被害が出たため、本年度は出店されず、また大黒橋エリアでも2017年度に出店されたバーベキュー店舗が、昨今の人手不足の影響を受けられ、安定的運営ができる人員確保が見込めなかつたことにより前年度に引き続き開業を見送られました。

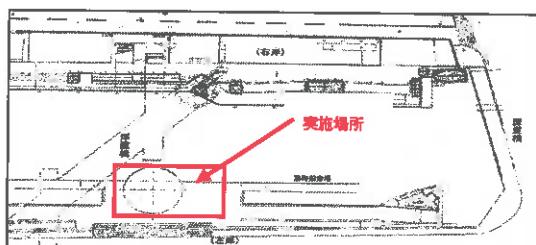
屋外店舗ならではの天気・気候などの影響をダイレクトに受けやすい状況は否めませんが、本年度は、初期費用を抑えつつ最小限のスタッフで運営でき、かつ小回りがきく「キッチンカー」での営業展開を模索しました。遊歩道への車両乗り入れと販売スペースが確保できる場所として、大黒橋エリア(左(北)岸)での営業検討を進め、出店者も決まり付近店舗等との調整と利用契約も終わっていましたが、出店者の都合(車両改造と申請、スタッフ確保などの諸問題)で、営業開始にいたりませんでした。引き続き来年度に向けて、バーベキュー店舗、キッチンカーとも出店を目指したいと考えています。

■ 大黒橋エリア 9月～11月までスイーツをメインに出店予定だった場所

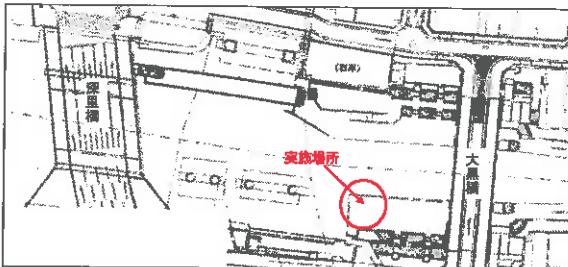


キッチンカー(右)とテーブル等設置予定下段(左)

【参考】2015～2018年度まで実施】湊町エリア(浮庭橋～深里橋 南岸)の独立型店舗



【参考】2017年度実施】大黒橋エリア(深里橋～大黒橋 南岸)の独立型店舗



(5) 広告事業

本年度の広告事業は、冒頭での「南海電鉄の取組について」『(1)新規での取り組み』についてで紹介した新ロングボード広告枠の年単位での貸出しをはじめ、ウォールアートでの企業PRアート広告や試行的ではあるもののInformationボードの活用により、広告収入が得られました。

引き続き前途した事項を基軸に、今後も新たな利活用スタイルを立案しつつ、収益確保による安定的な事業と話題喚起での賑わい創出に結び付けたいと思います。



(6) その他

道頓堀橋下の通路は、深夜から翌早朝までの5時間だけ門扉施錠により封鎖状態となっていましたが、本年度のイルミネーション開始後、11月から試行的に道頓堀橋下の通路閉鎖を1時間短縮し、夜間における遊歩道の東西回遊性の向上ならびに防犯面での安全性の改善検証も含めて当面の間、実証的に行ってています。12月までの2ヶ月間において安全性に問題もなく、思ったより多くの方が東西の往来で利用されていました。

2020年度内には、夜間に東西を分断している通路封鎖時間をなくし、いつでも道頓堀橋下を通って東西への往来ができる目標としています。

通行者調査実績

場 所：道頓堀橋下 両岸通路
時 間：深夜 00:00～01:00 の 1時間
集計期間：2019年11月～12月

実施年月日	右(北)岸側				左(南)岸側				合 計
	右岸 計	東→西	西→東	左岸 計	東→西	西→東			
11月 1日(金)	35	18	20	13	5	8	51		
11月 2日(土)	42	24	18	11	6	5	53		
11月 3日(日)	73	37	36	29	12	17	102		
11月 4日(月)	27	18	8	15	8	7	42		
11月 5日(火)	22	15	7	8	5	3	30		
11月 6日(水)	23	14	9	8	4	4	31		
11月 7日(木)	26	15	11	9	5	4	35		
11月 8日(金)	42	20	22	4	4	0	46		
11月 9日(土)	84	44	40	29	12	17	113		
11月 10日(日)	29	14	15	13	5	8	42		
11月 11日(月)	22	12	10	0	0	0	22		
11月 12日(火)	16	15	1	7	3	4	23		
11月 13日(水)	2	1	1	8	5	3	10		
11月 14日(木)	12	5	7	0	0	0	12		
11月 15日(金)	34	21	13	19	7	12	53		
11月 16日(土)	76	21	55	33	13	20	109		
11月 17日(日)	24	15	8	11	3	8	35		
11月 18日(月)	19	7	12	7	4	3	26		
11月 19日(火)	33	16	17	9	5	4	42		
11月 20日(水)	19	10	9	5	2	3	24		
11月 21日(木)	17	8	9	7	4	3	24		
11月 22日(金)	29	18	10	8	4	4	37		
11月 23日(土)	74	44	30	23	15	8	97		
11月 24日(日)	36	23	13	17	11	6	53		
11月 25日(月)	23	14	8	1	1	0	24		
11月 26日(火)	16	13	3	11	5	6	27		
11月 27日(水)	22	17	5	10	7	3	32		
11月 28日(木)	25	13	12	8	4	4	33		
11月 29日(金)	44	27	17	28	16	12	72		
11月 30日(土)	37	19	18	12	2	10	49		
合計	986	540	446	363	177	186	1,349		

実施年月日	右(北)岸側				左(南)岸側				合 計
	右岸 計	東→西	西→東	左岸 計	東→西	西→東			
12月 1日(日)	19	10	9	6	4	2	25		
12月 2日(月)	21	8	13	11	10	1	32		
12月 3日(火)	24	11	13	7	3	4	31		
12月 4日(水)	21	8	13	13	11	2	34		
12月 5日(木)	29	17	12	5	2	3	34		
12月 6日(金)	31	18	13	6	1	5	37		
12月 7日(土)	28	13	15	9	5	4	37		
12月 8日(日)	27	24	3	8	4	4	35		
12月 9日(月)	24	8	16	3	1	2	27		
12月 10日(火)	25	11	14	7	4	3	32		
12月 11日(水)	22	7	15	7	3	4	28		
12月 12日(木)	21	18	3	9	3	8	30		
12月 13日(金)	32	22	10	10	8	2	42		
12月 14日(土)	42	25	17	12	4	8	54		
12月 15日(日)	11	8	3	11	6	5	22		
12月 16日(月)	13	6	7	6	3	3	19		
12月 17日(火)	30	18	12	4	2	2	34		
12月 18日(水)	17	13	4	3	3	0	20		
12月 19日(木)	27	15	12	8	5	3	35		
12月 20日(金)	45	25	20	15	8	7	60		
12月 21日(土)	32	12	20	23	10	13	55		
12月 22日(日)	20	17	3	6	3	3	26		
12月 23日(月)	24	15	8	19	12	7	43		
12月 24日(火)	34	21	13	29	15	14	63		
12月 25日(水)	39	25	14	14	10	4	53		
12月 26日(木)	14	11	3	5	4	1	18		
12月 27日(金)	48	21	27	24	16	8	72		
12月 28日(土)	39	19	20	23	16	7	62		
12月 29日(日)	38	27	12	24	11	13	63		
12月 30日(月)	75	52	23	28	16	12	103		
合計	1,687	1,338	349	1,249	838	311	2,836		
合計	2,560	1,843	717	1,604	1,141	463	4,164		